

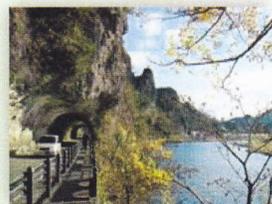


箭山会福岡支部

支部長 大木 敦夫

事務局：〒811-1346
福岡市南区老司3-48-6 渡辺宅
TEL 092-566-4713

編集責任者 城戸崎 重夫



耶馬溪



福岡支部長
大木敦夫(43回生)

■ 第42回福岡支部総会開く

第42回福岡支部総会は、平成21年5月16日(土)ソラリア西鉄ホテルで、母校、本部、北九州支部、如水会・並びに会員の皆様の多数、ご出席を頂き賑やかに開催されました。



総会の席において、華やかな市丸幸子前支部長さん(38回生)の後を受け、支部長に指名されました43回生の大木です。勉強不足ですが、よろしく願いいたします。

この一年の福岡支部の活動は別表の通りです。

皆様のご協力の許、各活動が無事に終わることが出来ました。厚く感謝申し上げます。年次を問わず同窓生が集まったの一時は楽しいものです。より多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

今年、平成22年度は母校の中津商業高校の閉校、中津工業高校との統合に伴い工業同窓会(如水会)との合併が大きな課題となります。既に、本部では合併同意書を取り交わしており、福岡支部もこれから合併に向けた協議を進めて参ります。長年の懸案でありました、会員を増やすチャンスでもあります。一人でも多くの同窓生に参加して頂くよう努力したいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。



■ 箭山会福岡支部の平成21年度の活動状況

年月日	行事など	場 所	参加者など
21年5月25日	第42回箭山会福岡支部総会	ソラリア西鉄ホテル	51名
5月10日	関東支部総会	日立金属高輪湓館	
9月24日	北九州支部総会	このみ倶楽部	福岡から8名
10月18日	関西支部総会	ハートンホテル心斎橋	
10月23日	第20回福岡北九州支部ゴルフ会	福岡国際CC	14名
10月31日	山香温泉の旅	風の郷	本部も含め16名
11月21日	箭山会本部総会	吉富亭	福岡から9名
22年1月30日	本部・支部役員合同会議		
	沖代会・福岡支部役員会懇親会	アークホテル博多D14	15名



第12回北九州支部総会開く

支部長 成重欽吾（46回生）



左：支部長 成重 欽吾（46回生）
右：前支部長 矢頭 誠（38回生）

が、年々参加者の減少が目立っている中での支部長引き受けとなり、これから新規会員獲得に向けて役員と一致協力で頑張る所存です。

去る平成21年9月26日（土）第12回北九州支部総会がこのみ倶楽部会場で、参加者72名「18歳の思い出を語ろう」のテーマで和気あいあいと楽しく開催され、無事終われたことに感謝申し上げます。前任の矢頭支部長の任期満了に伴い、後任にと矢頭支部長の推薦を受けて、総会で賛成多数により支部長を引き受けることとなりました。

平成9年に新生箭山会北九州支部が発足した時点は参加者が大変多かった

各支部から新規役員へと推薦したい会員が居りましたらご連絡いただければ幸いです。

今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



沖代会新年会開く

副支部長 稲尾公朗（40回生）

去る平成22年1月30日（土）12：00沖代会の新年会をアークホテル博多ロイヤルで20名のご参加をいただき、開かれました。沖代会は福岡支部創設時の方々が役員を引いて、そのOB会として、

60歳以上の会員を中心に設立した会でしたが、今や同窓会に参加される会員のほとんど高齢者、参加出来ることは健康の証となり、この日は米寿・傘寿・喜寿・古希・還暦の揃い踏みでした。



渡邊沖代会会長

（米寿）からは「健康で楽しくやりましょう」と、大木福岡支部長からは「如水会との合併により新しい福岡支部に向け頑張らしましょう」と、挨拶がありました。



協賛広告ありがとうございます

清瀧 環境と健康を考える
代表者 瀧上 憲司（41回生）
筑紫野二日市 電話：092-926-0070

箭山会 福岡支部
支部長 大木 敦夫（43回生）
福岡城南区 電話：092-861-5053

箭山会本部総会開く

会長 松永 勇治 (46回生)



「ベストフレンド」第9号発行、誠におめでとうございます。
 箭山会福岡支部の日頃よりのご活躍に感謝し厚くお礼を申し上げます。
 平成21年の本部総会・懇親会が、11月21日(土)、昨年「絆」に続き今年は「心」のテーマで吉富亭にて各支部役員、母校関係者、恩師、如水会役員のご臨席を賜り280余名の参加者で盛大に開催されました。今年は53回生(昭和46年卒)が当番で、東謙一実行委員長を中心に当番回生25名と本部役員が一丸となり、総会・懇親会、イベントを行い、無事終了することができました。これも皆様のお陰と深くお礼を申し上げます。今年の懇親会も、懐かしい恩師を招待、生徒会による母校風景、活動状況と中商物語(ストーリー)第2章をプロジェクターで紹介され、箭山会・学校・在校生三者の絆を深め、心を一つに懇親会が大いに盛り上がり皆さんも感動していました。その様子を今年も当番回生がCDに収録して、支部に送付いたしましたので機会がありましたらご覧ください。又、昨年同様、総会前に本部・支部役員の商品会議で意見交換を行い、今後について次のとおり話し合い、情報交換することになりました。

東支部の近藤清美氏(43回生)が母校閉校記念として、タイ国コーンケン大学付属小学校の少年野球チームを中津に招待、中津の少年野球チーム12チームと親善野球を行いました。箭山会・如水会協賛でお手伝いしました。中津では初めてのことで、市民のより大変喜ばれました。
 ・中津東・中津工業が第88回全国高校サッカー選手県大会に出場21年12月31日第1回戦で千葉県八千代高校と対戦0-5で敗退箭山会として、本部・各支部が募金に協力、関東支部は、寒い中8名が応援に駆けつけました。福岡支部の募金ご協力ありがとうございました。

【 母校関係 】

・リンクプル 目標の650kg達成
 2月26日に宇佐養護学校に車椅子を寄贈致しました。会員の皆様ご協力ありがとうございました。
 ・全国商業高校英語スピーチコンテストで梅木里帆さん第2位入選
 ・3級ファイナンシャルプランニング(ライフプラン、財産形成などの提案できる資格)技能士検定に竹本遥奈さんが本校初合格。
 ・3年生仮卒業の2月6日に、卒業生にマナーを覚えてもらうため全員にグランドプラザホテルでテーブルマナーを実施します。
 箭山会も費用の一部を支援します。22年3月は、120名が卒業します。22年度は、95名が母校最後の締めくくりをします。生徒は淋しくなると思いますが、箭山会も精一杯協力していきたいです。又、箭山会も23年3月までですが本部役員一同、最後まで母校、生徒、会員のため頑張る所存ですのでご指



余興の神楽



導、ご鞭撻をよろしく申し上げます。最後になりましたが、貴支部のますますの発展と会員皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

- ① 各支部の箭山会と如水会の合併問題
- ② 22年11月20日 箭山会最後の本部総会になるので協力をお願い
- ③ 23年3月に母校最後の卒業式の参加要請
- ④ 卒業式当日、同窓会が閉校式典を行う予定
- ⑤ 23年11月に合併後初の中津東高校同窓会を行う予定等

■ 21年の主な行事

【 箭山会関係 】

・日本・タイ国少年野球親善交流会 21年3月31日~4月7日関



本部支部名	会長・支部長	所在地	事務局長	本部支部名	会長・支部長	所在地	事務局長
箭山会本部	松永勇治(46回生)	中津市	榎川貞夫(46回生)	北九州支部	成重欽吾(46回生)	北九州市	瀬口 巖(37回生)
関東支部	花水正平(39回生)	横浜市	宿利敏夫(36回生)	星窓会	山本幸夫(39回生)	中津市	宮瀬敏幸(52回生)
関西支部	小倉利幸(44回生)	大阪市	森重 武(39回生)	福岡支部	大木敦夫(43回生)	福岡市	渡辺 隆(43回生)

協賛広告ありがとうございます

中商ストーリーを成功させよう

箭山会長 松永 勇治 (46回生)

中津市 電話：0979-32-0712

箭山会 同窓会でお待ちしています

顧問女性部長 市丸 幸子 (38回生)

福岡香椎浜 電話：092-671-2775

福岡北九州合同ゴルフ会

日時	平成 21 年 11 月 23 日 (金)
場所	福岡国際 C C : 神湊スカイホテル 14 名
優勝	成重 欽吾 北九 46 回生
準優勝	荒川員允 北九 40 回生
3 位	大木敦夫 福岡 43 回生

優勝者の挨拶 成重 欽吾 (北九46回生)

今回で23回目となるゴルフコンペで初優勝することが出来ました。平成9年新生北九州支部が発足して、12年目を迎えた。発足時皆さんとの親睦を深めるためのアンケート調査を実施したところ、旅行・カラオケ・ゴルフ・



麻雀・囲碁・将棋と色々な趣味をいただき、その中で一度で多くの趣味をかなえることは、一泊でのゴルフによりカラオケ、麻雀、囲碁等が出来ることでゴルフが始まり今回が23回目でした。私も昭和56年からゴルフを始め、60年頃には90を切れるようになっていたが、仕事の



参加者記念写真

関係で2年ほど遠ざかったところ、102前後のスコアに戻り現在に至っています。今回は、同組のメンバーに恵まれ、和気あいあいアウトを終え、53、インを47・8位で回ればもしかして入賞の気持ちでした。インを終えて50、グロスで103では3位くらいかな?とっていた。宴会での結果発表で優勝者の名前を呼ばれ自分の耳を疑りました。これからも箭山会ゴルフを福岡支部・本部と協同で頑張っていきたいと思っています。会員の参加とご協力をお願いします。

第9回旅行会 山香温泉「風の郷」の旅

相部喜久代 (50回生)

車窓から見える風景も黄色やオレンジに変わり始める10月31日(土)ロマンあふれる国東仏の里「山香温泉」へ出かけた。支部会員15名を乗せたマイクロバスは8時半博多駅を出発し、一路大分道へおよそ2時間後、日本一雄大荘嚴な「熊野磨崖仏」へと到着する。鬼が一夜で築いたと伝えられる自然石の乱積石段を登ると、巨岩壁に刻まれた石仏が母のように優しく迎えてくれ、



ホットする。磨崖仏の前で記念写真を撮り、目的地「風の郷」温泉へと急ぐ。源泉かけ流しの桶風呂で癒された後は、美味しい会席料理とお酒で至福のひと時を過ごした。

午後のコースは九州最古の和様建築物、「富貴寺大堂」へと移動する。大堂内部には本尊阿弥陀如来坐像が安置され、一瞬時の流れが止まったように思えた。そして最終コースの豊後高田市の「昭和の町」を駆け足で通り抜け、第9回旅行会の旅は無事に終えるこ



とが出来ました。来秋も元気な姿でお会いいたしましょう!といっぱいの思い出を胸に解散した。



協賛広告ありがとうございます

箭山会福岡支部ゴルフ会

顧問 久恒 喜成 (28回生)

福岡百道浜 電話: 092-831-2989

祝! ベストフレンズ9号発刊

顧問監査 吉井 陽二 (37回生)

福岡平尾 電話: 092-531-2024

郷土の偉人「田原 淳」

梶屋孝太郎 (33回生)

私は年齢のせいか心臓を気にすることが多くなりました。一昨年検診で心臓の小さい血管(1mm)の一部が95%詰まっているのが見つかり、カテーテル検査の末ステントを入れることになった。以来心臓について感心が高まりいろんな本を読んでいるうちに田原淳教授の偉大さがわかってきましたので紹介いたします。

【心臓が動く謎に挑んだペースメーカーの父 田原 淳】



現代人にとって大きな関心事のひとつに挙げられる心臓の病。心電図診断やペースメーカー治療など、その治療法はめざましい発展を遂げ、日本国内だけでも毎年数万人もの患者にペースメーカーが埋め込まれている。こうした今日の心臓学の基礎を築いたのが、病理学者の田原淳(たわらす

なお)である。彼の業績は、北里柴三郎や野口英世など、ほぼ同時代に活躍した医学者と比べても、優りこそすれ、決して劣らない。田原の研究からおよそ一世紀を経て、心臓学が隆盛を極める今日、その歴史を拓いた彼の研究人生を振り返ってみたい。田原淳は、明治6年7月5日、大分県東国東郡西安岐村瀬戸田で代々庄屋を務める中嶋家の長男として生まれた。淳の才能を見込んだ両親は、中津で開業医を営む親戚の田原春塘と相談し、19歳の淳を田原家の養子とし、その将来を託した。以後、彼は養父・田原春塘から精神的にも経済的にも全面的な支援を得る。さっそく淳は、勉学のために帝都・東京に上る。淳は第一高等学校に進学。その後、東京帝国大学医科大学に入学し、明治34年に卒業。普通なら中津に帰郷し、養父の家業を継ぐところだが、淳の研究への熱意と、それに応える春塘の気持ちが



マールブルク大学病理学教室に留学中の田原。(前列右より二人目。その左隣が主任教授ルドヴィヒ・アシヨフ)

ひとつになり、淳はさらに海外に游学。明治36年1月、田原淳を乗せた貨客船・備後丸は、横浜港を離岸し、40日後マルセイユ港に到着した。この航海の片道運賃は、一等450円、二等は310円。「1,000円もあれば家



一軒建つ」と言われた当時の物価を勘案すると、私費留学がいかに大金を要する一大事だったかがわかる。この養父の私財を投じた協力がなければ、世界に誇る病理学者・田原淳の存在はなく、淳は市井の医師として、その生涯を終えたはずである。マルセイユからドイツに向かった淳は、友人のつてを頼ってマールブルグ大学病理学教室の門を叩き、ルートヴィヒ・アシヨフ教授の指導を請う。そして、教授の指導のもと、わずか3年余りの間に近代心臓学の歴史を拓く世紀の大発見をするのである。その端緒は、教授の「淳くん、クレール教授の新説を確かめてくれないか」の一言だった。その頃、ライプチヒ大学のL・クレール教授らが提出した新説がドイツの医学界で話題となり、多くの学者に支持されていた。そ



田原が1906年に著わした『哺乳動物心臓の刺激伝達系』とその邦訳と英訳

それは、肥大した心臓の多くが心不全を起こす原因は、心筋細胞と心筋細胞の間の結合組織の炎症に求められる、とするもので、当時世界では「関質性心筋炎説」と呼ばれた。アシヨフ教授は淳に、関質性心筋炎説が正しいことを、病理解剖から

得られた100以上もの心臓標本を用いて検証するよう依頼したのだ。さっそく淳は、心臓の標本を厚さ約10マイクロメートルの薄い切片に慎重に切り分けた。そして、来る日も来る日も光学顕微鏡で一つひとつ丁寧に観察していった。ところが、心臓の切片をいくら注意深く観察しても、細胞と細胞の間の結合組織に炎症は認められない。さらに淳は、根気よく観察した。だが、細胞に見かけ上の変形は認められたものの、炎症はついに認めることはできなかった。そして淳は、誰もが疑わなかった関質性心筋炎説は、じつは誤りである、と結論づけたのである。ドイツの医学界で主流であった学説を、極東からやって来たばかりの淳は、丹念に観察した末に、躊躇することなく否定した。その背景には、既成概念に捕われず、生命の不思議を真正面から捉えようとする真摯な研究姿勢があった。そして、この検証が、のちに世紀の大発見に結びつく。

協賛広告ありがとうございます

日本食品(株) あらびき大将
副社長 梶屋 孝太郎 (33回生)
古賀市青柳 電話:092-942-6100

(有)江副商店 畳・襖・障子張替
ごろ寝サポート 江副 節子 (41回生)
福岡原 電話:092-871-5253

「笑いの配達人 / 南京玉簾」

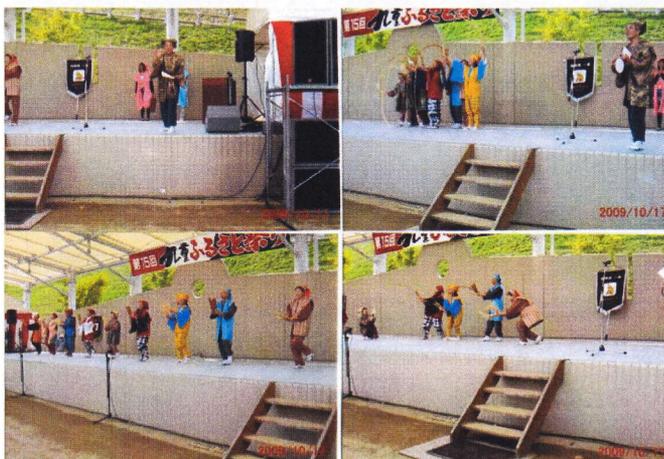
笑倍道小笑ひとやすみ 梶田 義富 (44回生)

仕事がまだ現役の頃、女房が友達の手伝いで“博多どんたく”大道芸パレードに出ていたのを見て、興味を持ったのが玉簾との出会いである。この大道芸は日本人のみならず外国の方々にも受けるのでは?と思いつき、女房の友人の方にご指導を仰いだ。そして平成9年11月七隈公民館文化祭で初デビュー、冷や汗百斗だったが何故かしらとても充実感があった。その後はまり込んでボランティア集団「尚倍道」を結成、渡辺通りに在る高級料亭“やまぶき”で産湯を使わせて頂き誕生し、今では北は福岡奈多の海岸から南は鹿児島まで、活動は九州一円に広がっています。



(右端が梶田義富氏)

平成18年、箭山会の大先輩である梶屋顧問と、IT基地隊長の相部さんが相次いで入会し一座に華を添えている。昨年秋の九重ふるさと祭り興行は、九重夢大吊橋やミヤマキリシマなど九重をテーマに創意工夫し、オリジナル演目を披露して大喝采を得た。これを契機に一座名を「笑倍道」と改名して芸のジャンルも広げ、笑い売りの多芸な大道芸人ボランティア集団に模様替えをしているところであります。



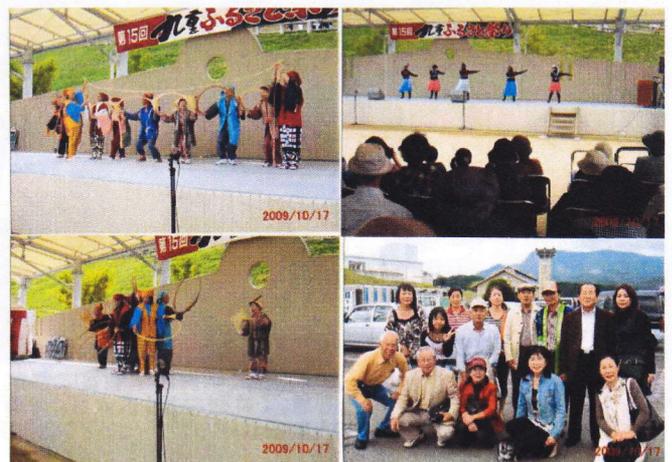
ここで「南京玉簾」の魅力について笑(紹)介を致します。南京玉簾は正確には「南京無双玉簾」です。韓国、中国(南京)、アジア、ヨーロッパは勿論アメリカ大陸にも無い、つまり世界に二つと無い(無双)大道芸と自負して、南京無双玉簾と言うようです。

芸に使う小道具は、玉簾と太鼓が基本ですが、時には鉦(しょう)が加わります。玉簾は竹で作った断面が丸い形の棒(丸いのを玉と言います)の集合体です。お寿司を巻く時使う簾、日よけの簾を小さくしたものに似ています。聞き及んで見ましたところ、北京・韓国・アルゼンチン・イギリス・ドイツ・フランス・インドネシアなど、そこそこに竹製品はあるものの、玉簾で芸をする様な国はございませんでしたので、やっぱり日本独自のものつまり、東西無双と言うのかなあとガッテンしています。

笑倍道一座会員は各自芸名を持っていて自己笑介をします。ちなみに、梶屋先輩は「笑倍道デリック孝ちゃん」、相部さんは「笑倍道キューティIT」、そして小生は「笑倍道小笑ひとやすみ」と言うふうに。そして笑介はユニークでかつ格調高く、ユーモアいっぱいの口上で行います。例えば“博多帯締め筑前絞り、歩く姿は柳腰。そんな師匠に手ほどき受けて、近頃楽しく南京無双玉簾。私は福岡県知事の芸能御用達一になりたい、笑倍道小笑ひとやすみと申します。どうぞよろしくお願ひします。”の如くです。

(九重ふるさと祭り「笑倍道」興行)

今後も大道芸を通して「笑いの配達人」となり、笑いと希望をお届けします。そして人生を大いに楽しみながら、箭山会の発展にも貢献出来ることを喜びとしています。



協賛広告ありがとうございます

飲むならタクシー、飲んだらタクシー
 個人タクシー 三好 一正 (55回生)
 福岡長住 電話：090-8761-9322

西日本工業大学 ソフトテニス部
 監督 守口 澄良 (40回生)
 吉富町 電話：0979-22-7204

玄海釣シリーズ3 不漁も釣りの内

井上慎一 (37回生)

平成21年の釣は不漁でした。もっぱら博多沖の玄界灘を中心に釣り船で釣るのですが、烏賊釣りに三回挑戦したが、何れも



悪天候のためお流れに。鰻釣も例年なら七月頃から釣れはじめるのに、魚群が博多湾に近寄らず短いシーズンとなりました。

一方、キス釣は釣れはじめも

早くから遅くまでシーズンが伸び申し分のない釣果でした。キス釣の時は、大型魚狙いの生餌の置き竿をしてマゴチが懸かるのが何よりの楽しみです。写真



は小生が操船のお手伝いをしているところです。

マレーシア便り その5 「世界遺産」

ロングスティーヤー 柴田 裕子 (43回生)

「世界遺産となったマラッカとペナン島ジョージタウン」

皆様、またまたご無沙汰してしまいましたが、2010年をいかがお過ごしでしょうか。日本は昨年100年ぶりに政権が交代し新時代を迎えましたが、マ



レーシアも首相が代わり、6代目となりました。

1957年に独立した「マレーシア」は52歳の若い国ですが、マレー人たちの歴史は古く、4世紀にはマラッカ海峡側のペナン島の近くに王国があり、14世紀まで中国やインド、中東との交易で繁栄していました。「マレーシア」の祖となったのは、インドネシア・スマトラ島にあった王国の王子がマラッカに来て1400年ごろ建国したマラッカ王国と考えられています。マラッカ国王は中国・明に毎年朝貢し、明から鄭和の船団が1次から7次まで毎回寄航するなど中国との交易を重視するとともにイスラム教に改宗してインドや中東などの多くのイスラム商人を惹きつけます。16世紀初頭にはポルトガル人作家が「マラッカは多くの卸商人とおびただしい交易船の集まる全世界で最も豊か

な港である」と書くように、84以上の言語が話される多民族国際都市として繁栄していました。フィリピンからインドネシアまでのアジア島嶼部は胡椒などの香辛料、産業革

命期に需要の急増したゴム、錫など林産物、海産物の宝庫であり、かつ東の中国、西のインド・中東・ヨーロッパとの交易の中継地として、特にマラッカ海峡地域はヨーロッパ列強の侵略の矛先となっていました。マラッカの繁栄は1511年のポルトガルによる征服を招き、追われたラッカ王家はジョホールで新王国を築きます。さらに1641年マラッカはオランダに占領されます。イギリスは1786年ペナン島を占領、続いて1819年シンガポールを手に入れ、1824年英蘭条約によってマラッカも手に入れます。イギリスはこの3地域を直轄植民地とし、その他の地域も徐々に間接統治していきます。こうして1942年の日本軍占領まで430年にわたってヨーロッパ勢から交易上の権益を取られていたこととなります。日本のマラヤ占領は1945年敗戦により3年半で終了しました。



マラッカとペナン島のジョージタウンは「マラッカ海峡の歴史都市群」として2008年にユネスコの世界文化遺産に指定されました。両都市ともヨーロッパ文化とマレー・中国・インド文化が融合した独特の雰囲気醸し出しています。昨年末に香港から遊びに来た友人を連れて両都市に行ってきました。マラッカではヨーロッパ遺跡建築群とともにババ・ニョナ文化と呼ばれる中国人とマレー人の混血によって生まれた独特の料理、手の込んだ



(ババ・ニョナ料理)

衣装、財を成した中国人たちの建築物、パステルカラーの中国製陶磁器などを、ペナン島ではマラッカ海峡を望むホテルの海で泳ぎ、ペナン料理を楽しんできました。



写真はマラッカでポルトガルが築いた砦の中に立つフランシスコ・ザビエルの像。ザビエルはここで日本人のヤジロウと会い、日本布教に旅立つことになりました。

協賛広告ありがとうございます

株やす企画 不動産取引・管理
代表取締役 矢頭 眞一 (44回生)
福岡天神 電話：092-741-2121

箭山会 福岡支部釣クラブ
監査 井上 慎一 (37回生)
福岡周船寺 電話：092-807-6347

本部よりの感謝状贈られる

市丸幸子 (38回生)

このほど、永年、箭山会の活動にご貢献いただいた方に贈られる本部からの感謝状が前福岡支部長市丸幸子さんに贈られました。副支部長として5年間、女性の卒業生が多くなる中、初の女性支部長として、新しい同窓会を切り開いていただきました。今後も女性会員の勧誘にご尽力いただきたいと思います。

■ 感謝状受賞の御礼 市丸幸子 (38回生)

昨年11月15日箭山会本部総会に於いて感謝状と記念品を頂戴いたしました。厚く御礼申し上げます。箭山会福岡支部の支部長という大役をお引き受けして4年間どれだけの貢献が果たせたのかと反省して

心苦しく感じております。この4年間支部役員、各会員の方々のご協力ご支援を何よりも心強く感じました。皆様のお蔭で4年間無事務めさせていただきました。改めて心より感謝申し上げます。

今後も同窓会の輪が「みんなで楽しく、みんな仲良く」と発展するように願って微力ながら努めさせて行きたいと思っています。今後ともよろしく願い申し上げます。



文芸広場 (俳句)

渡辺 隆 (43回生)

母郷 渡辺たか志

山々のうしろは母郷初霞
白魚の隠れどこなき白磁皿
洞門の鑿跡しるき初音かな
母訪ふはあと幾たびか遅桜

ほととぎす暮しに水田ありし頃
日蝕や蝉の鳴き止む神隠し
別姓の表札並べ百日紅

八朔や弊のはためく峡の里
ネクタイを外して久し秋刀魚焼く
鷹渡りゆきて稜線暮れ残る

霜降の山路を急ぎ母の許
母の亡きふる里冬へまつしぐら
四十九日まだうら若き竜の玉



■ 新役員紹介

笠木 智恵子 (38回生・昭和31年卒)
出身地：中津市
住所：福岡市中央区 (別府市内で洋菓子屋)
趣味：旅行



■ 福岡支部役員会録



21/4/25	6/8	9/2	12/19	22/1/30
ソリア西鉄ビル	福岡鷹勝	蒼の雫	博多窯山	アークホテル博多Diyal
14名	12名	12名	11名	15名
総会準備	21年度活動	旅行会打合せ	BF9号編集会議	沖代会新年会ほか

編集後記

城戸崎 重夫
(47回生)



ベストフレンズNo9号をお届けします。

製作費用の削減を図るのに梶谷先輩の幹旋や役員各位の賛助広告、及び奇稿頂いた会員の皆様には厚くお礼申し上げます。

ベストフレンズは箭山会員同士の活動情報誌として、大きな役割を果たしています。これからもベストフレンズが箭山会の情報発信元となり、更に充実した機関紙として数多くの会員の皆様にご拝読頂ける様、取り組んで参ります。

協賛広告ありがとうございます

経営のパートナー 税務・経理支援
代表 城戸崎 重夫 (47回生)
福岡東区 電話：090-4581-7676

紙誌製作 (ベストフレンズ編集担当)
代表 近藤 孝雄 090-7389-0815
古賀市今の庄 kondo.fk@angel.ocn.ne.jp